

レムナントは3つを味わおう

出エジプト 14章13節

それでモーセは民に言った。「恐れてはいけない。しっかり立って、きょう、あなたがたのために行なわれる主の救いを見なさい。あなたがたは、きょう見るエジプト人をもはや永久に見ることはできない。

イスラエルは、神様に選ばれた民です。多くの民族の中からイスラエルを先に選んで、祝福を与えて世界福音化を命令されました。しかし、イスラエルは契約をのがしてエジプトの奴隷になりました。そのとき、レムナントのモーセを通して福音を回復させていただき、エジプトの代表的な10種類の偶像を壊す奇跡を起こして出エジプトさせていただきました。ところが、カナン地に向かうイスラエルの民に、前は紅海、後ろにエジプトの軍隊という絶体絶命の危機が訪れました。このとき、神様は紅海を分けて、追いかけてくるエジプト軍隊を全部倒して、イスラエルの民を守られました。

レムナントには、エジプトの訓練のような大きな問題と限界が来ることがあります。どのようにしなければならぬのでしょうか。1つ目、出エジプトの力であるただ福音を刻印しましょう。2つ目、逾越祭、五旬節、仮庵祭という三つの祭りを覚えるようにと言われたように、毎日、定刻祈りと常時祈り、集中祈りで根をおろしましょう。3つ目、神様は契約の箱を通して、詳しく導いてくださいました。礼拝を通してくださった証拠を確認して体質化しましょう。神様はイスラエルを導かれたように、レムナントを世界福音化の祝福の中にあるように導いてくださるでしょう。

きょうのみことば

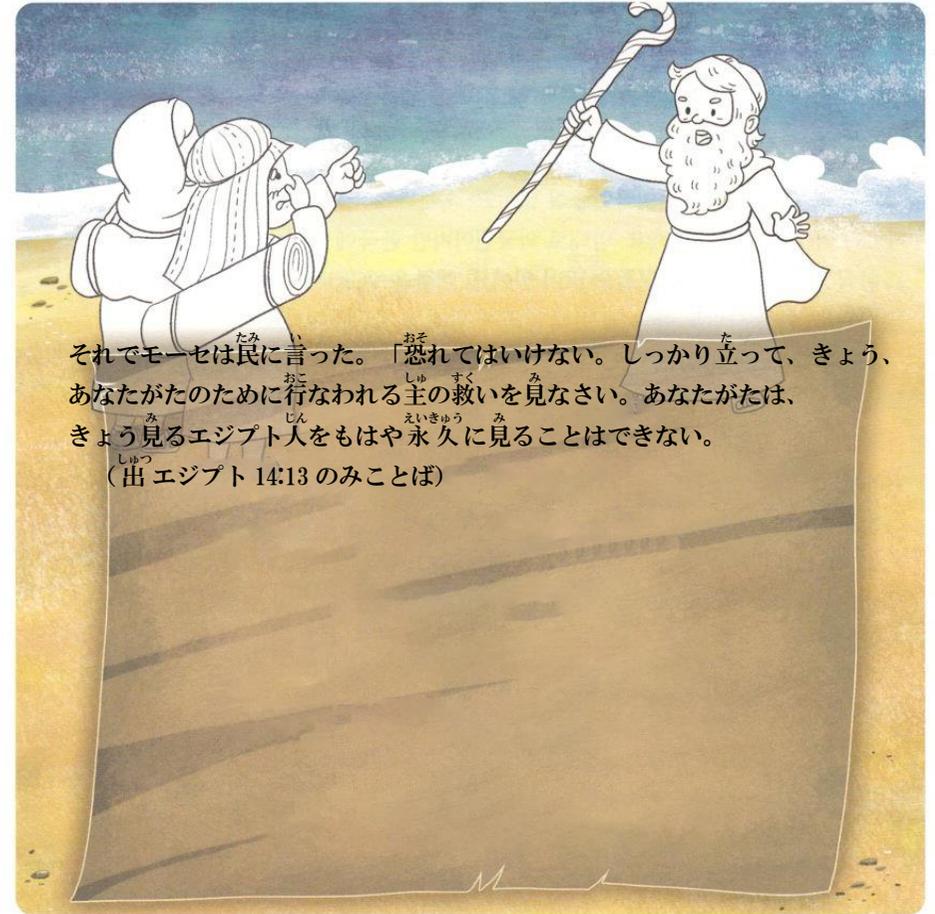
きょうのいのり

神様、ありがとうございます。エジプトの奴隷ではなく、神の子どもとして呼んでくださってありがとうございます。福音によって刻印、祈りによって根、証拠によって体質となり、世界福音化するレムナントになりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



書いてみよう

レムナントは、神様が与えてくださった契約を毎日覚えましょう。きょうのみことばから、神様が私にどんなみことばをくださったのか書いて、もういちど確認しましょう。



それでモーセは民に言った。「恐れてはいけない。しっかり立って、きょう、あなたがたのために行なわれる主の救いを見なさい。あなたがたは、きょう見るエジプト人をもはや永久に見ることはできない。
(出エジプト 14:13 のみことば)

きょうのでんどう

あひと
会う人

じゆんびょう しりょう
準備する資料



23

レムナントの関心 神様の関心

かようび

Ⅱ テモテ 2章 1節

そこで、わが子よ。キリスト・イエスにある恵みによって強くなりなさい。

日本には仕事のために来た外国人がたくさんいます。しかし、言語と文化がちがう国で暮らしているので、むずかしいことがあったりします。反対に、外国にルーツを持つのですが、日本で生まれて日本語を使って日本の文化になじんでいる子どもたちもたくさんいます。彼らをTCK (Third Culture Kids) と言います。日本人でも外国人でもない、第三の文化に属する人々です。

聖書の中のレムナントは、その多くがTCKでした。エジプトに奴隷として連れて行かれたヨセフ、養子縁組して王家に入ったモーセ、バビロンの捕虜だったダニエルと三人の青年、また、初代教会の弟子たちや、たくさんの信仰の人もTCKでした。神様は来られるメシヤ、来られたメシヤ(キリスト)を、彼らを通して強大国にあかするように導かれ、多くの人を救うために用いられました。

今、レムナントが行っている現場はどうでしょうか。そこにもTCKの友だちがたしかにいます。神様の最高の関心は神の子ども、そして福音が必要な現場にあります。この事実を覚えているレムナントに、神様は聖書の中のレムナントに与えられた答えを与えてくださるでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。ただ福音によって私自身を生かし、現場にいる福音を待っているTCKを生かす証人となりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



教会や学校、また、町内に他の国から来た友だちがいるかをよく見てみましょう。そして、その友だちの国について簡単に調べましょう。

くに なまえ
国の名前

くに こっけ
国の国旗

くに ことば
国のことば

くに しゅうきょう
国の宗教



あひと 会う人

じゅんび 準備する資料



24 すいようび

みことばを編集した レムナントの100年人生

しんめいき
申命記
しょうせつ
17章 15節

あなたの神、主の選ぶ者を、必ず、あなたの上に王として立てなければならぬ。あなたの同胞の中から、あなたの上に王を立てなければならない。同胞でない外国の人を、あなたの上に立てることはできない。

神の子どもであるレムナントの人生には、どれくらいの価値があるのでしょうか。創世記3章以来、神様を離れたすべての人の人生は、動物と同じ程度になってしまいました。しかし、神様はただイエス・キリストを通して神の子どもになったレムナントの人生を、100年、1000年以上の人生として祝福してくださいました。

イスラエルは神様の祝福を受けた民族でしたが、彼らの考えや生き方、霊的状态は、エジプトの奴隷として編集されていました。それゆえ神様は、エジプトで10の奇跡を見せて、紅海を分けられました。また、荒野で三つの祭りや契約の箱を与えられ、イスラエルの人生を100年の価値に編集されました。

レムナントの考えと心、生き方はどうでしょうか。神様を信じない未信者のように、心配、不安、思い煩いで編集された人生を生きていますか。ただ福音、ただ祈り、ただ伝道の祝福を持つ神の子どもとして編集された人生を生きるならば、聖書の中のレムナントの人生のように、豊かな答えを確認しましょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。神の国に生きている神の子どもらしく、みことばによって編集された人生を生きますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



いろをぬろう

ふとしたときにでて来る、いやな思い出はありますか。私を苦しめる思い出を神様のみことばによって編集しましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

かみさま 神様がくださったことで せっけい 設計しよう

もくようび

しんめいき
申命記
しやうせつ
18章 2節

かれらは、その兄弟たちの部族の中で相続地を持つてはならない。主が約束されたとおり、主ご自身が、彼らの相続地である。

建物をたてる時や、自動車を作るとき、また、小さなボールペンを作るときにも、設計図があります。神様は、私たちが神様のみことと計画に基づき設計して造られました。イスラエルを選ばれた神様は、全世界に福音が宣べ伝えられることを願っておられます。神様を離れたゆえに来るわざわいとろい、宗教と偶像問題で苦しむしかない全世界のために、この地にイエス・キリストを送ると約束してくださいました。そのために選ばれたイスラエルでしたが、そのイスラエルが奴隷、捕虜、属国になって、多くの困難を経験しました。そのときに、神様は契約をくださいました。みことばが書かれた板をおさめた契約の箱をくださり、三つの祭りを守って幕屋と会見の天幕、天幕中心に生きるようにと言われました。その契約の祝福が神殿に、また、今日の教会に与えられています。契約のバトンがレムナントに伝えられたのです。

レムナントが今日ささげる小さな礼拝が、レムナントの人生を設計する神様の時間であることを知っていなければなりません。この時間を通して福音を刻印して、祈りで福音をゆたかに味わうならば、神様は全世界237か国を生かす証拠をレムナントにくださるでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

かみさま
神様、ありがとうございます。全世界237か国に神様のみことと計画を伝えるレムナントになりますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン



なやんで
います

こんげつ
今月のなやみはなんでしょう



パク・ウヨン牧師夫人
わたし、なやんでいます

どうすれば毎日、絶えず
祈り続けることができますか

契約の旅程を歩む人にとって、祈りはすべてです。神様のみことばを信じて生きる人は、だれでも、良く祈り、また、良く祈り続けようとしませう。問題は、絶えず祈り続けるための力は、人から出てくるものではないということです。祈ることのできる力は、全的に神様からの恵みによるのです(使1:8)。もし私たちが、普段から暗唱や黙想を通してみことばを刻印しているなら、そのみことばが力となって、心と思いを守ってくださり、祈ることができる力が与えられます(エレミヤ29:13)。神様のみことばを聞く人、そのみことばを信じている人、そのみことばを契約として握って、契約の旅程を毎日夢見る人なら(創世記37:5-9、45:5-8)祈りは、自分も知らないうちに24時間続くものになります。そのときを待ちながら、いまささげている小さな祈りを毎日のがさないようにしましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゆんび
準備する資料



26

きんようび

福音の中にある契約に 集中しよう

創世記
37章11節

兄たちは彼をねたんだが、父はこのことを心に留めていた。

レムナントのヨセフと彼の兄たちは、お父さんやコブから福音の契約を伝えてもらいました。いつも衣食住のことばかり心配していた兄たちとは違って、ヨセフはいつも神様とともにいました。兄たちに憎まれるようになって、奴隷として売られたところでも、ヨセフはともにおられる神様を味わいました。罪を犯していないのに監獄に行くことになったときも大丈夫でした。神様とともにいることで幸せだったからです。月日が過ぎて、ヨセフは神様の完ぺきな時間の中で、多くの人の前に神様をあかす指導者になりました。

今、家庭と学校、教会、友だちや勉強、未来のために苦しいことがありますか。その中には、必ず神様の計画があります。神様は、その問題と苦しみ機会にしてくださり、世界福音化の祝福を味わうようにしてください。レムナントのヨセフのように、夢で見るほど神様のみことばに集中するとき、人の話と世の中の立派に見える文化に捕らわれている多くの世の中のサミットを生かす証人になるでしょう。今日もいつもともにおられる神様に集中しましょう。

きょうのみことば

Blank lines for writing the daily message.

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。ヨセフのように、福音の中にあるみことばに集中して、この世とサタン文化にだまされている現場を生かしますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを
適用しよう

いま、いちばん苦しいことはなんですか。その問題を許された神様の計画を尋ねて、聖書から聖句を書いてみましょう。そして、そのみことばを一日中、思い出してみましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

Grid area for writing names and preparation materials.

27

どうぶ

いの祈りのシステムを作ろう

エレミヤ 33章3節 わたしを呼べ。そうすれば、わたしは、あなたに答え、あなたの知らない、理解を越えた大いなる事を、あなたに告げよう。

祈りは神様と疎通する最高のシステムです。神様は、私たちを唯一、神様と疎通できる霊的存在として造られました。神様と互いに疎通して、すべてを征服して治める祝福の存在として造られたのです。しかし、人は神様を離れた瞬間、神様と断絶してしまいました。神様に戻る道を知らないで宗教と偶像、のろいにつかまって生きていくしかありません。神様ではない他の霊と疎通して、霊的に、精神的に捕われて、依存症、執着、分裂の問題を体験するようになりました。

それゆえ、神様が道を開いて答えをくださいました。イエス・キリストを通して、神の子どもにしてください、神様がくださる力と能力で、その祝福を伝えて生きるようにしてくださいました。レムナントは、人と疎通する前に、まずは神様と疎通するいの祈りのシステムを作りましょう。そのいのシステムができるなら、サタンが私のすきをつくることができないので、いつも福音を味わうことができるでしょう。



レムナントは、どんなことも神様に話して、尋ねることができます。下の2つの絵のちがうところを見つめながら、ダニエルが持っていた集中の時間を私のことにできるように祈りましょう。



きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。福音を味わういの祈りのシステムを作ることができますように。多くの方が神様に立ち返ることができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

きょうのでんどう

あひと 会う人

じゅんび しりょう 準備する資料